



INGING MOTORSPORT



# INGING NEWS PAPER

INGING MOTORSPORT OFFICIAL WEBSITE OF PAPER [http://www.inging.co.jp] インギングニューズペーパー



# ランク首位で 最終戦、鈴鹿へ

荒れるレース展開を掻い潜り、“優勝”へ高まる期待。



Race Report

Round.6 SPORTS LAND SUGO 9/24 Final

決勝 2017年9月24日 スポーツランドSUGO



TAKE FREE

NEXT  
PAGE

ROUND.7 SUZUKA CIRCUIT 10/21.22

Support by cyber net  
株式会社 サイバーネット

# 優勝争いに王者!!



## Race Report


決勝 2017年9月24日 スポーツランドSUGO

### Round.6 SPORTS LAND SUGO 9/24 Final

天候:晴れ | コース状況:ドライ | Time [ 1'19'07.193 ] / Best [ 1'08.402 ]


絶対のレース日和となった決勝日、予選は午前9時から30分間のフリー走行が行われた。開始から10分ほど経過したところでクラッシュ車両の回収のために赤旗中断となったが、それ以外は大きなアクシデントもなくセッションは進行。最終的に石浦はトップと1000分の5秒差の2番手タイム、国本は11番手タイムの順位は大きく分かれた2人だが、確かな手こたえをつかんできて優勝に臨んだ。豊が照らしを減らすことが少なかったせいか、決勝レースが始まる午後2時10分の時点で気温は26度、路面温度は41℃まで上昇した。スタートダッシュに成功したのは国本で、オープニングラップで2ポジションアップし7番手に、石浦は出遅れて12番手からレースをスタートすることになった。接近戦の多いレース序盤は、目の前のマシンにふたをされる形で思うようなペースを作れずにいた石浦だったが、他のライバル達が早めのピットイン戦略を選択したり、ペナルティなどで順位を下げていく中でしじわとポジションアップ、さらにオーバーテイクシステムも駆使して、#7フェリックス・ローゼンクヴィスト選手や#18小林可夢偉選手を自力でかわすと、トラフィックのないタイミングでは、次元の違う抜群の速さを見せた。ただ一人1分7秒台を記録し、ファステストラップを記録しながら見え見えの敵とのギャップを詰めていき、60周を終了してピットイン、残り8周のためにメカニック達が迅速な

作業でガソリン補給を行うと、石浦は8番手でコースに復帰し、無給油作戦でペースの上がない2台をかわして6位フィニッシュとなった。これで貴重な3ポイントを追加し合計33.5ポイントとした石浦は、ポイントリーダーの座を死守して最終戦に挑む。国本も、石浦同様トラフィックのない場所をペースを上げ、他車のピットインの度にポジションアップしていった。石浦よりも1周前にピットインすると、7番手でコース復帰。無給油作戦の#7ローゼンクヴィスト選手の後ろでレースに戻ったが、66周目に#7ローゼンクヴィスト選手をパスすると、勢いそのままに翌日には#18小林選手を抜き去り、4位チェッカー。表彰台まであと一歩のところまで追い上げてSUGO戦を終えた。この結果により国本もシリーズランキングで5ポイントを追加し、僅かではあるが最終戦にタイトルの可能性を残すことになった。2台揃ってのポイント獲得で、チームランキングでもP.MU、CERUMO・INGINGは2位のTEAMMUGENに4ポイント差をつけて最終戦に挑むことになる。




**国本 雄資 / Y.Kunimoto**

「スタートは動き出しも良く、もっとポジションを上げられそうだったのですが、行き場がなくなってしまう上りませんでした。でも、ここで少しでも前に出ると今後の戦いもはげやない。後からたどるイメージ、昔に比べるとクルマがいたので、ダウンフォースが効けて本来のペースではなかなか走れなかったのですが、補給エリアになってからはずいぶん進みました。でもまだ最終戦のペースに慣れませんでした。新しい仲間もまだセッティングに慣れていないので、それを合わせても時間がないので、その部分を詰めていくことが最終までの課題だと思っています」




**石浦 宏明 / H.Ishiura**

「スタートは普通に運用をしたのですが、なぜかクルマが動き出すまでタイムアップがあり、順位を上げてしまいました。それか抜け遅れもどつかつた原因はよくわかりませんが、セーフティカーも出まらなかったし、6位まで降格するのがやっとな。ファステストラップは狙いましたが、ペースはスタートに良かったので、それを活かさないのは悔しかったです。ただ、最後のSUGOシリーズポイントに足りず、それを克服しようと思った今日のレースで、チームとしてクルマとタイヤの使い方をしっかり見直して手ごたえをつかめたことは、大きなプラスに感じています。ランキングポイントも稼いだし、思いをつづけることで今後のレースで、最終戦では強い切った勝負をしてみたいです」



**立川 祐路 / Y.Tachikawa**

「石浦はともにもペースが良かったのですが、スタートでポジションを下げてしまったことが悔しかったです。ただ最終戦の決戦はできてほしい。最終戦をインクルードアップして狙えることができれば、ほとんどはいいですが、なんとかなり切ったタイムを獲りたいですね。国本も、他のクルマに引っかけたままレースにはなりましたが、ペースは良かった。最終戦では2台揃っていい結果を出し、チームを締めくくりにしたいと思います」



**浜島 裕英 / H.Hamashima**

「2台揃ってドライバーズタイトルの可能性を残し、チームランキングでもトップを守っています。最終まで諦めずに走った結果なので、今日のレース結果に対してはいい感じに仕上がっています。最終決勝では、まずはいい勝負をして、タイトルを勝ち取りたいと思っています」

監督

総監督